

2012年4月4日

報道関係各位

子どものお弁当に関する調査

ママが作るお弁当のおかず 1位「たまご焼き」2位「鶏のから揚げ」3位「ウインナー」
 子どもが好きなおかず 1位「鶏のから揚げ」、未就学児童では「ウインナー」がダントツ
 キャラ弁にチャレンジ 小学校低学年の児童のママでは3割弱
 自慢の手作り弁当をネットで公開 20代ママの3割強

ウインナーの飾り切り 1位「タコ」2位「カニ」3位「チューリップ」
 ウインナー購入ポイントは「味」「値段」が上位、「添加物」に注意を払うママ4割弱

塾作りを経験 小中高生のママの3割弱
 塾弁を作ったら「子どもとの会話が増えた」3割弱

お弁当作りに使うお役立ちグッズ 1位「柄つきカップ」2位「シリコンカップ」3位「ピック」

「常備菜（作り置きしたおかず）を、お弁当に入れている」6割半
 「お弁当のおかずの残りを朝ごはんにしている」6割半

「今年の春は、お弁当を持って子どもとピクニックに行きたい」約4割

パルシステム生活協同組合連合会 (<http://www.pal.or.jp>) (本社：東京都新宿区、理事長：山本 伸司) は、「子どものお弁当に関する調査」をモバイルリサーチ (携帯電話によるインターネットリサーチ) により、2012年3月8日～3月14日の7日間において実施し、1000名 (調査対象者：月に1日以上頻度で子どものお弁当を作っている20歳～59歳の既婚女性) の有効サンプルを集計いたしました。(調査実施機関：ネットエイジア株式会社)

調査結果

- ◆ ママが作るお弁当のおかず 1位「たまご焼き」2位「鶏のから揚げ」3位「ウインナー」
- ◆ 約9割の20代ママのお弁当作りに欠かせない「ウインナー」と「たまご焼き」
- ◆ 子どもが好きなおかず 1位「鶏のから揚げ」、未就学児童では「ウインナー」がダントツ
- ◆ お弁当を残さずに食べてもらうために工夫している 9割超
- ◆ キャラ弁にチャレンジ 小学校低学年の児童のママでは3割弱
- ◆ 自慢の手作り弁当をネットで公開 20代ママの3割強

全回答者 1000 名に対し、子どものお弁当作りによく利用しているおかずを複数回答で聞いたところ、1 位「たまご焼き」(86.5%)、2 位「鶏のから揚げ」(82.4%)、3 位「ウインナー(ソーセージ)」(77.6%)、4 位「ハンバーグ」(63.0%)、5 位「ミートボール」(56.2%) が上位に挙がりました。緑黄色野菜の「ブロッコリー」は 56.1%、「プチトマト」は 54.1% となり、野菜もお弁当によく利用されている様子が窺える結果となっています。

また、20 代のお母さんでは、よく利用するおかずとして、「たまご焼き」(89.2%)と「ウインナー(ソーセージ)」(89.2%) が同率 1 位となっています。

同様に、全回答者 1000 名に対し、子どもが好きなお弁当のおかずを複数回答で聞いたところ、1 位「鶏のから揚げ」(80.1%)、2 位「たまご焼き」(65.1%)、同率 3 位で「ウインナー(ソーセージ)」(59.9%)と「ハンバーグ」59.9%が続きました。また、子どもの学齢が保育園児・幼稚園児では、1 位「ウインナー(ソーセージ)」(80.3%)、2 位「鶏のから揚げ」(69.2%)、3 位「たまご焼き」(61.1%)、4 位「ハンバーグ」(58.6%)となっており、年齢が小さい子どもには、「ウインナー(ソーセージ)」が「鶏のから揚げ」を超える人気のおかずであることがわかりました。

続いて、全回答者 1000 名に対し、子どもにお弁当を残さず食べてもらうための工夫を複数回答で聞いたところ、「子どもの好きな食材を入れる」(61.1%)や「いろどりをよくしている」(56.2%)が上位になりました。他にも「おかずがどれも似た味付けにならないようにしている」(34.0%)、「子どもが食べやすい大きさにする」(23.3%)、などの味付けや食べやすさについての配慮や、「カップやピックなど、子どもが好きな柄が入ったものを使う」(22.1%)、「ごはんをおにぎりにする」(20.1%)、「ウインナー(ソーセージ)や野菜などを飾り切りする」(17.9%)、などのお弁当の見た目を楽しくする工夫もされていました。

一方、「工夫はしていない」は 9.2%に留まっており、9 割超のお母さんは子どもがおいしく、また、楽しくお弁当を食べられるように様々な工夫をしていることが窺える結果となっています。

また、お弁当を残さず食べてもらうための工夫として、「キャラ弁にしている」と回答した人は、小学 1~2 年生のお母さんで 27.3%となり、小学校低学年の子どものお母さんの 3 割弱がキャラ弁作りにチャレンジしていることがわかりました。

続いて、作ったお弁当をインターネット上に公開したことがあるか聞いたところ、お弁当作りをしているお母さんの 8.9%が公開したことがあると回答しました。お母さんの年代別では、20 代で 32.4%、30 代で 16.2%、40 代で 5.5%、50 代で 1.9%が公開したことがあると回答し、20 代のお母さんの 3 割以上が自慢の手作り弁当をインターネットで公開して楽しんでいることがわかりました。

◆ ウインナーの飾り切り経験あり 84.2%

◆ ウインナーの飾り切り 1位「タコ」2位「カニ」3位「チューリップ」

◆ ウインナー購入 ポイントは「味」「値段」が上位、「添加物」に注意を払うママ4割弱

全回答者 1000 名に対し、子どものお弁当にウインナー(ソーセージ)の飾り切りを入れた経験について聞いたところ、ウインナー(ソーセージ)の飾り切りを子どものお弁当に入れたことがある割合は 84.2%となり、8 割を超える人が子どものお弁当にウインナー(ソーセージ)の飾り切りを入れた経験があることがわかりました。

また、子どものお弁当に入れるウインナー(ソーセージ)の飾り切り 1 位は「タコ」(80.0%)、次いで 2 位「カニ」(55.2%)、3 位「チューリップ」(12.3%)と続いています。他には、「ハート」(8.4%)、「ウサギ」(7.5%)、「ヒマワリ」(4.4%)、「ペンギン」(4.4%)などが挙がり、定番のタコさんウインナー以外にも飾り切りのバリエーションが広がっている様子が見られました。

続いて、全回答者 1000 名に対し、ウインナー(ソーセージ)を購入する際に重視するポイントを複数回答で聞いたところ、「味」(79.4%)、「値段」(63.9%)、「食感」(54.5%)、「賞味期限」(51.3%)、「添加物」(37.8%)が上位となりました。

また、重視するポイントとして、「味」と回答した割合については、20 代のお母さんで 70.3%、30 代で 78.4%、40 代で 78.3%、50 代で 87.1%と、年代が上がるにつれて高くなりました。一方で、「全体の量」と回答した割合については、20 代で 40.5%、30 代で 32.0%、40 代で 28.7%、50 代で 22.6%となり、年代が上がるにつれて下がる傾向が見られました。

- ◆ 塾弁作りを経験 小中高生のママの3割弱
- ◆ 塾弁を作ったら「子どもとの会話が増えた」3割弱

子どもが学校で食べる以外のお弁当として、「塾弁」(進学塾・学習塾に持参する弁当)について聞いてみました。

小・中・高校生のお子にお弁当を作っている 608 名に対し、「塾弁」を作った経験があるか聞いたところ、「経験がある」と回答した人は 27.6%でした。また、塾弁を作った経験があると回答した 168 名に対し、塾弁を作ることで子どもとの関係がどのように変化したかを複数回答で聞いてみると、「子どもとの会話が増えた」(28.6%)、「子どもが感謝の気持ちを持つようになった」(22.6%)、「子どもが勉強を頑張るようになった」(21.4%)、「子どもへの愛情が深まった」(18.5%)、「子どもの健康状態がよく分かるようになった」(17.3%)との回答が続きました。塾に通う子どもを応援する塾弁は、お母さんと子どもとの関係に良い影響を与えている様子が窺えました。

- ◆ お弁当作りに使うお役立ちグッズ 1位「柄つきカップ」、2位「シリコンカップ」、3位「ピック」
- ◆ 20代、30代のママはお役立ちグッズの利用に積極的
- ◆ 小さな子どもに多く使われている「ピック」と「型抜き」「型抜きパンチ」

お弁当をより楽しくするために、また、便利に作るために、お母さん達はどのようなことをしているのでしょうか。

全回答者 1000 名に対し、子どものお弁当作りに使っているお役立ちグッズを複数回答で聞いたところ、「柄つきカップ」(48.5%)、「シリコンカップ」(46.1%)、「ピック」(38.2%)が上位になりました。また、これら3つに加えて20代、30代のお母さんからは「型抜き」「型抜きパンチ」「おにぎり型」が多く挙がり、50代のお母さんからは「調味料入れ(醤油/ソース/ケチャップなど)」「ふりかけケース」が多く挙がりました。また、「ピック」と「型抜き」「型抜きパンチ」は子どもの年齢が低いほど多く使われていることが分かりました。

お母さんの年代別に子どものお弁当作りに使っているお役立ちグッズの平均利用数をみると、20代で3.2個、30代で3.1個、40代で2.1個、50代で2.0個のお役立ちグッズを使っており、20代、30代のお母さんはお役立ちグッズの利用に積極的な様子が窺えます。

- ◆ 「常備菜(作り置きしたおかず)を、お弁当に入れている」6割半
- ◆ 「お弁当のおかずの残りを朝ごはんにしている」6割半
- ◆ 「できるだけ食材から手作りしている」約6割

忙しい朝のお弁当作りで、お母さん達はどのような工夫を取り入れているのでしょうか。全回答者 1000 名に対し、お弁当作りの実態について聞いてみました。

【常備菜(作り置きしたおかず)を、お弁当に入れている】では、65.4%が『あてはまる(計)』(「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計 以下同様)と回答しました。お弁当を作る頻度別に見ると、週3日以上作るお母さんの約7割が『あてはまる(計)』と回答し、常備菜を活用してスピーディにお弁当を作っている様子が窺えます。

また、子どものお弁当を作る際に、【配偶者のお弁当も一緒に作ってしまう】では、41.6%が『あてはまる(計)』と回答しています。お母さんの年代別では、『あてはまる(計)』が20代で59.4%、30代で47.9%、40代で37.4%、50代で40.7%となっており、20代、30代のお母さんがやや高めの割合となっています。

【お弁当のおかずの残りを朝ごはんにしている】では、64.0%が『あてはまる(計)』と回答しており、子どものお弁当作りは朝食作りも兼ねている人が6割以上いることが分かりました。

また、【できるだけ食材から手作りしている】では、『あてはまる(計)』が59.2%となり、できる範囲で食材から手作

りしている様子が窺えました。

◆「子どもから、美味しかったなどお弁当についての反応がある」8割弱

◆「今年の春は、お弁当を持って子どもとピクニックに行きたい」約4割

全回答者 1000 名に対し、お弁当を持たせた子どもからの反応について聞いてみると、【子どもから、美味しかったなどお弁当についての反応がある】では、77.9%が『あてはまる(計)』と回答しました。

子どもの学齢別にみると、保育園児・幼稚園児では 88.4%、小学生では 83.1%、中学生では 78.7%、高校生では 73.3%となりました。学齢が上がるにつれて反応がやや少なくなる傾向が見られましたが、どの学齢の子どもでも 7割以上がお母さんにお弁当の感想を伝えている様子がみられます。

また、暖かくなりつつある今日この頃、お弁当を持ってピクニックに行くのも楽しいものです。【今年の春は、お弁当を持って子どもとピクニックに行きたいと思っている】では、39.2%が『あてはまる(計)』と回答しました。

子どもの学齢別では保育園児・幼稚園児のお母さんでは 73.7%、小学生では 57.9%となっており、子どもの学齢が低い人においては、子どもとお弁当を持参したピクニックへの意向が高いことが窺える結果となっています。

◆「塩麴」を知っている 7割強

◆「子どものお弁当に塩麴を使ったものを作りたい」6割弱

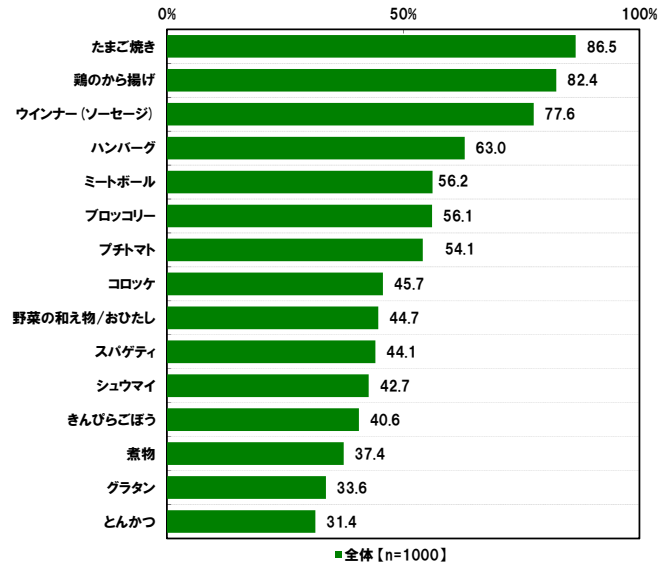
最近話題となっている食材の塩麴とお弁当作りについて、聞いてみました。

まず、塩麴を知っているかどうかを全回答者 1000 名に聞いたところ、「知っている」は 72.4%となり、塩麴の認知度の高さが窺えました。また、お母さんの年代別では 20代で 59.5%、30代で 68.3%、40代で 73.6%、50代で 78.7%が知っていると回答し、年代が上がるにつれて認知率が高くなっていることがわかりました。

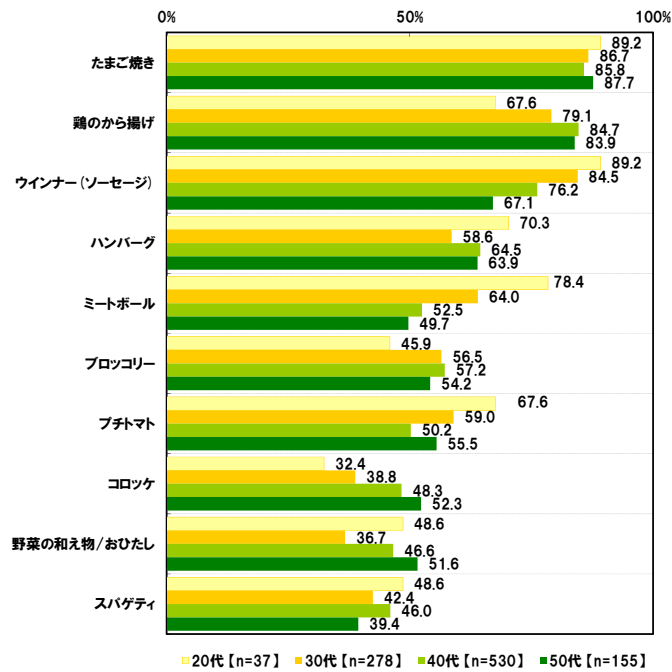
次に、塩麴を知っていると回答した 724 名に対し、塩麴を作った経験を聞いてみると、「作ったことがない」が 87.6%となっており、大半の人が塩麴作りにはまだチャレンジしていないことがわかりました。

同様に塩麴を知っていると回答した 724 名に対し、子どものお弁当に塩麴を使ったものを作りたいと思うか聞いたところ、『思う』(「とても思う」と「やや思う」の合計)が 58.7%と過半数になりました。今後お弁当作りにおいて、塩麴を使ったおかずが人気メニューのひとつとなる可能性が窺えました。

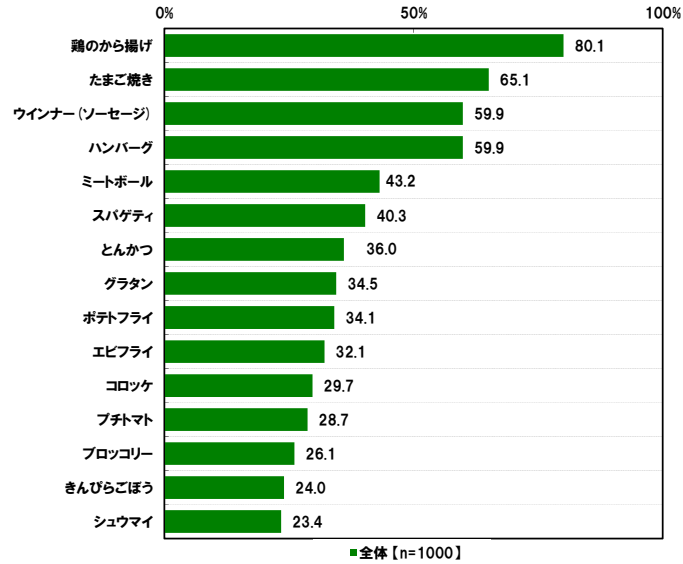
◆子どものお弁当作りによく利用しているおかず
 (複数回答形式)
 ※上位15項目を表示



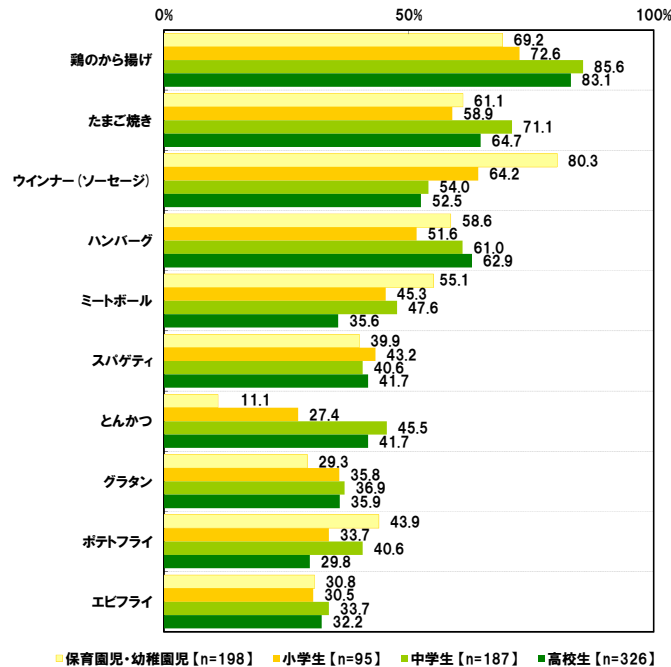
◆子どものお弁当作りによく利用しているおかず
 (複数回答形式) <お母さんの年代別>
 ※上位10項目を表示



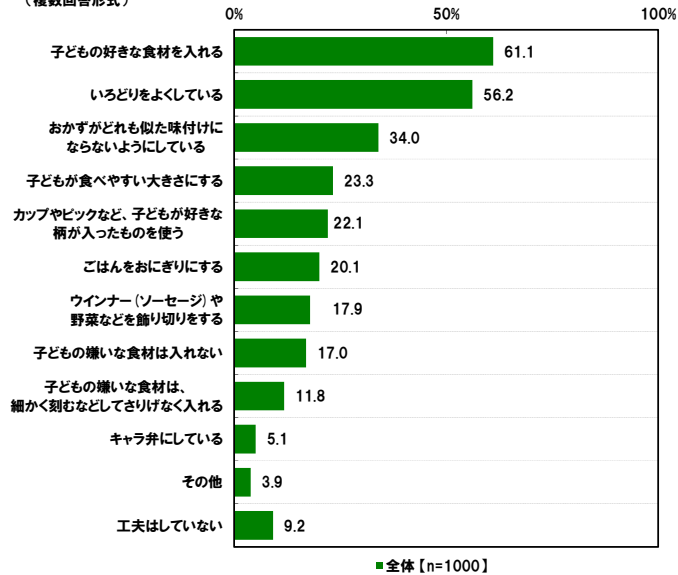
◆子どもが好きなお弁当のおかず
(複数回答形式)
※上位15項目を表示



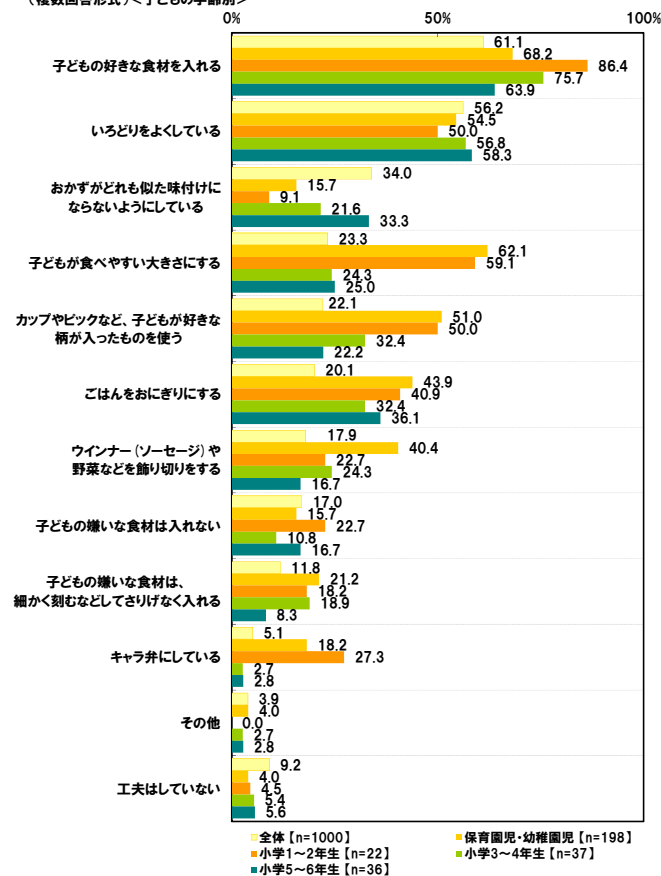
◆子どもが好きなお弁当のおかず
(複数回答形式) <子どもの年齢別>
※上位10項目を表示



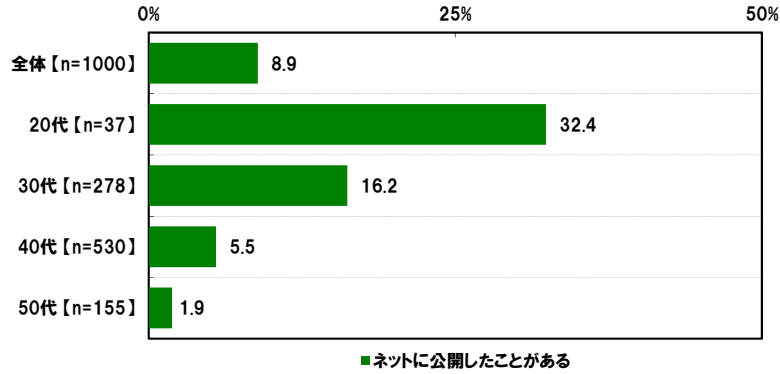
◆子どもにお弁当を残さず食べてもらうための工夫
(複数回答形式)



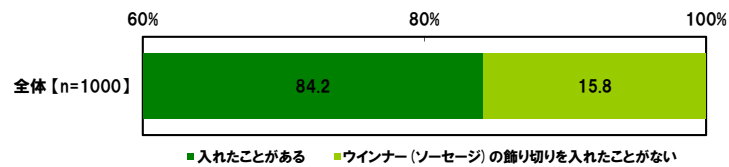
◆子どもにお弁当を残さず食べてもらうための工夫
(複数回答形式) <子どもの年齢別>



◆作った子どものお弁当をネットに公開したことがある割合

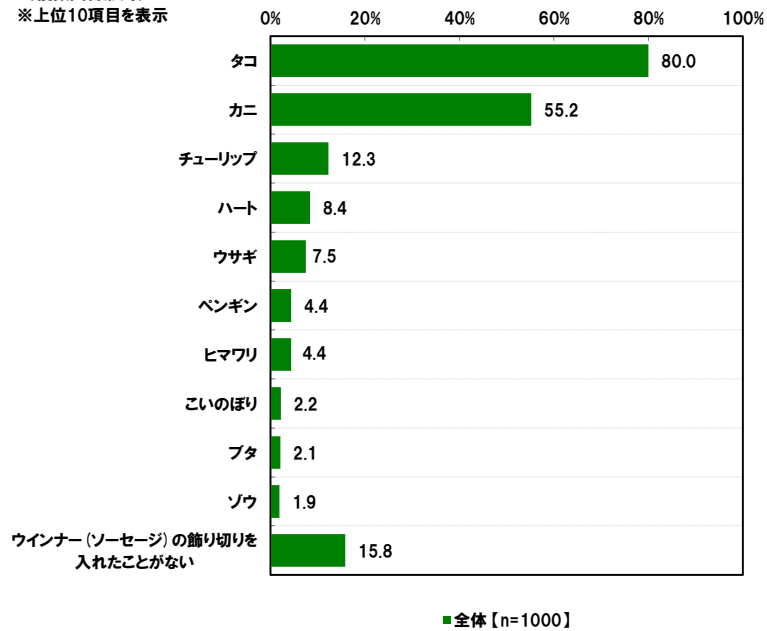


◆ウイナー（ソーセージ）の飾り切りを子どものお弁当に入れたことがある割合

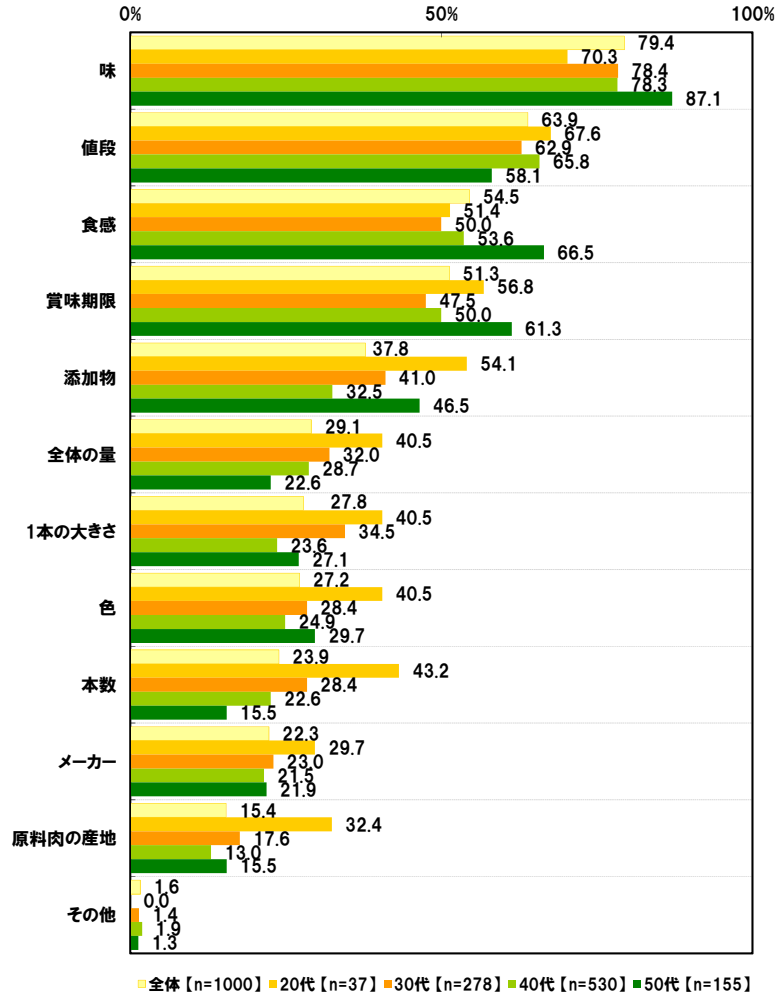


◆子どものお弁当に入れたことのあるウイナー（ソーセージ）の飾り切り
（複数回答形式）

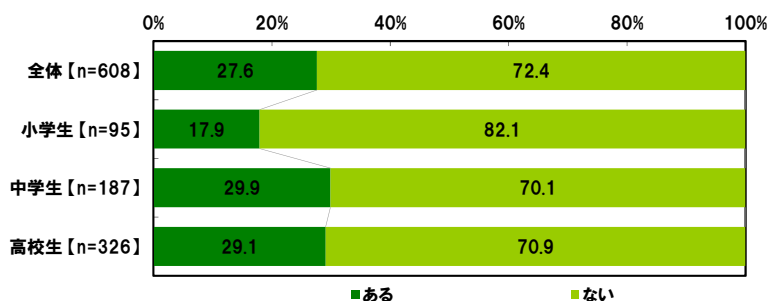
※上位10項目を表示



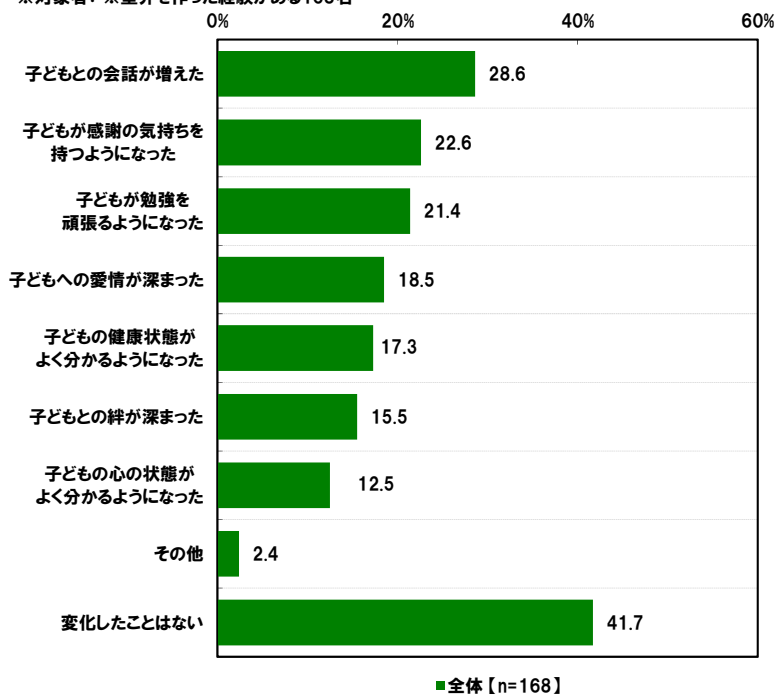
◆ウインナー(ソーセージ)を購入する際に重視するポイント
(複数回答形式)＜お母さんの年代別＞



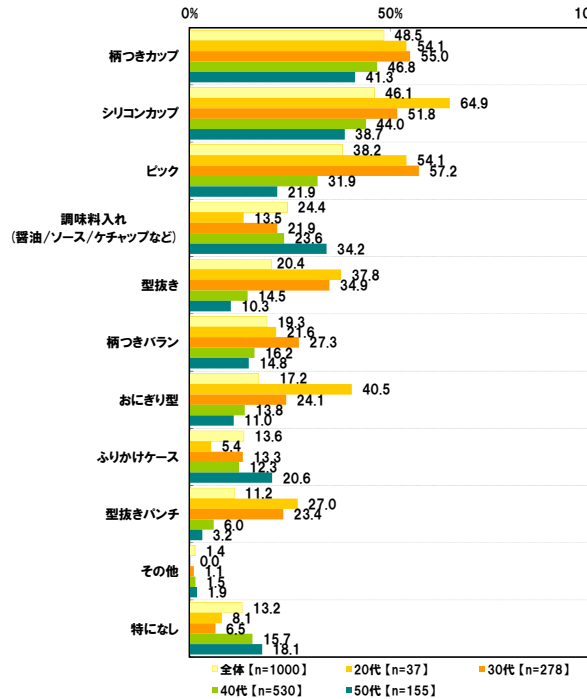
◆”塾弁”を作った経験
 (単一回答形式) <子どもの年齢別>
 ※対象者: 小・中・高校生のお弁当を作っている608名



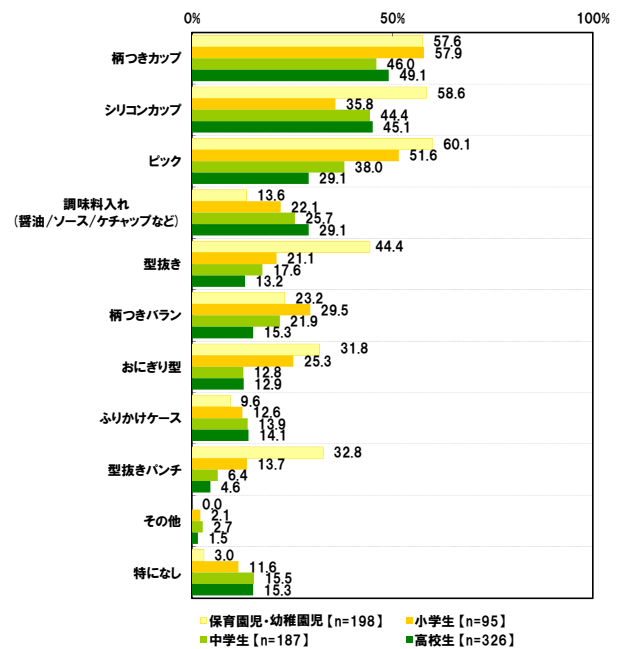
◆”塾弁”を作ることで子どもとの関係の変化
 (複数回答形式)
 ※対象者: ※塾弁を作った経験がある168名



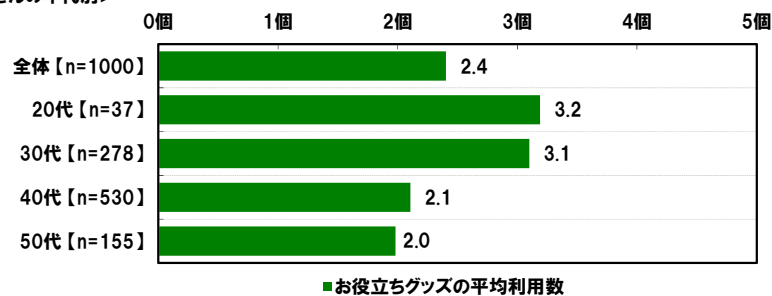
◆子どものお弁当作りに使っているお役立ちグッズ
(複数回答形式) <お母さんの年代別>



◆子どものお弁当作りに使っているお役立ちグッズ
(複数回答形式) <子どもの年齢別>

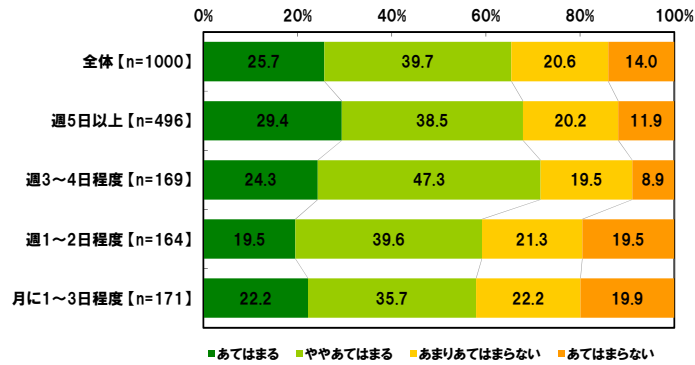


◆お弁当作りに使っているお役立ちグッズの平均利用数
<お母さんの年代別>

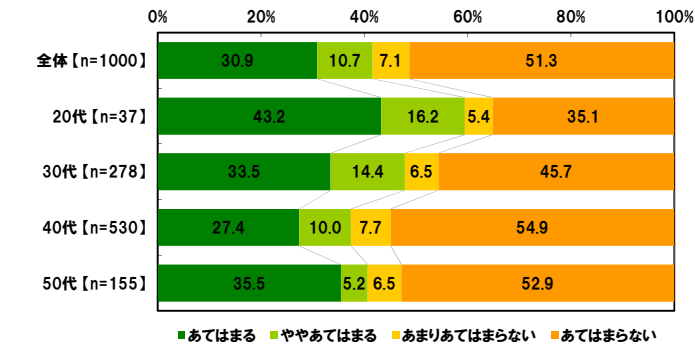


■お役立ちグッズの平均利用数

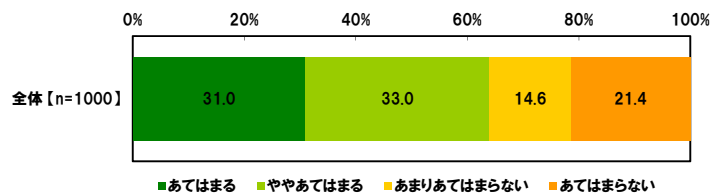
◆常備菜（作り置きしたおかず）を、お弁当に入れている
（単一回答形式）＜お弁当を作る頻度別＞



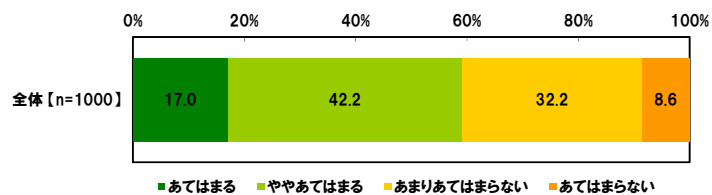
◆配偶者のお弁当も一緒に作ってしまう
（単一回答形式）＜お母さんの年代別＞



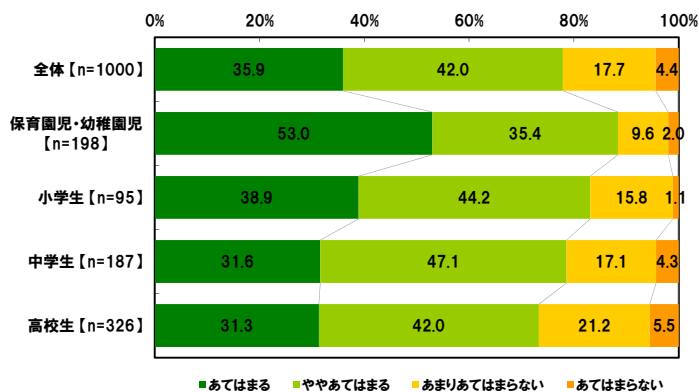
◆お弁当のおかずの残りを朝ごはんにしている
（単一回答形式）



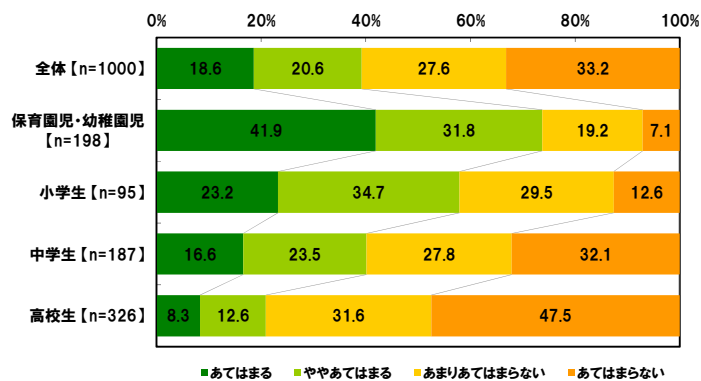
◆できるだけ食材から手作りしている
（単一回答形式）



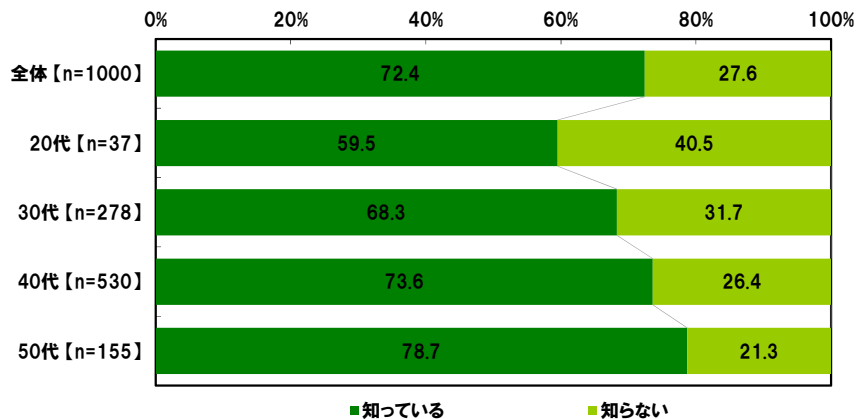
◆子どもから、美味しかったなどお弁当に関する反応がある
(単一回答形式)<子どもの学齢別>



◆今年の春は、お弁当を持って子どもとピクニックに行きたいと思っている
(単一回答形式)<子どもの学齢別>

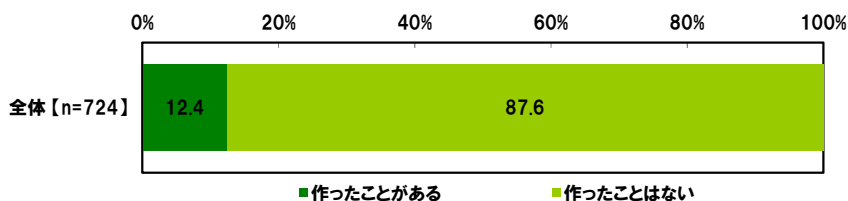


◆あなたは、「塩麴」を知っているか
(単一回答形式) <お母さんの年代別>



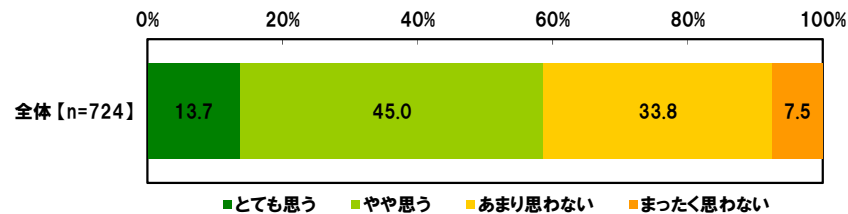
◆あなたは、「塩麴」を作ったことがあるか
(単一回答形式)

対象者: 塩麴を知っている724名



◆子どものお弁当のおかずにも、「塩麴」を使ったものを作ってみたいと思うか
(単一回答形式)

※対象者: 塩麴を知っている724名



◆調査概要◆

- ◆調査タイトル：子どものお弁当に関する調査
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする
月に1日以上頻度で子どもにお弁当を作っている20歳～59歳の既婚女性
- ◆調査期間：2012年3月8日～2012年3月14日
- ◆調査方法：インターネット調査（モバイルリサーチ）
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答母数から1,000サンプルを抽出）
- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社
調査協力会社：ネットエイジア株式会社（担当：唐木田）

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「パルシステム生活協同組合連合会調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

パルシステム生活協同組合連合会 広報部 担当：大野、石原
 TEL : 03-6233-7241
 Eメール : pal-kouhou@pal.or.jp
 受付時間 : 10時00分～17時30分(月～金)

■■パルシステム生活協同組合連合会 概要■■

組織名 : パルシステム生活協同組合連合会
 代表者名 : 理事長 山本 伸司
 設立 : 1990年2月
 所在地 : 東京都新宿区大久保2丁目2-6 ラクアス東新宿
 業務内容 : 会員生協の委託を受けた、商品・システム・基幹物流